

男女平等な働き方について考える 最新図説政経 p.260, 261

年 組 番 名前

問1 現状を理解しよう【知識・技能】

①資料集 p.260 導入の資料からどのようなことが読み取れるか、書いてみましょう。

②なぜ、①のようなことが生じるのか、資料集や図書館、インターネットなどで、女性の労働環境について調べてみましょう。

調べた資料の出典を確認・メモしておきましょう。

③日本のジェンダーギャップ指数は先進国中最低レベルで、特に政治・経済分野での低さが問題です。ジェンダーギャップ指数上位の国を1つ選び、次の観点を中心に日本との違いを調べてみましょう。

賃金制度／育児休暇制度と取得率／労働時間など労働環境／教育

選んだ国【 】

●ジェンダーギャップ指数は、
経済分野

- ・労働参加率の男女比
- ・同一労働における賃金の男女差
- ・推定勤労所得の男女比
- ・管理職従事者の男女比
- ・専門技術者の男女比

政治分野

- ・国会議員の男女比
 - ・閣僚の男女比
 - ・最近50年における行政の
長の在任年数の男女比
- などのデータから判断される。

問2 なぜ、性別による差が生まれるのか考えよう【思考・判断・表現】

①資料集 p.261 B①はアンコンシャス・バイアスといって、無意識の偏見・思い込みの一例です。このほかに、あなたが無意識のうちに性別と役割・能力を結びつけていると気づいたものがあれば、あげてみましょう。また、そのような「思い込み」をもつようになった理由を考えてみましょう。

気付いた例

理由

●ほかの人と意見交換し、自分が気付かなかったこと、異なる意見などをメモしよう。

メモ

②問1②で調べたような、働く上での性別による違いが生じる原因を考え、日本の労働環境の課題は何か、あげてみましょう。

問3 解決策を考えよう

働く上で男女ともに活躍できる社会にするために、あなたが改善したいと思うことを1つ書き、どうしたら改善できるか、具体的な対策を考えてみましょう。考えた対策を、下のチェックポイントを参考に見直してみましょう。

【思考・判断・表現】

改善したいこと

具体的な対策

●クラスでグループを作り、考えた対策を発表して話し合ってみよう。ほかの人の意見を聞いて、自分の意見に足りないところや気付いたことをメモしよう。

メモ

●チェックポイント

- ☐ 自分が別の性だったとしても納得できるか？（公正、平等）
- ☐ 誰かに不当に我慢を強いていないか？（公正、自由）
- ☐ 誰でも実践でき、社会の不平等改善に効果があるか？（持続可能性）

本誌二次元コードの「様々な意見」も参考にしよう！